

人とヒグマの軋轢（人身・経済被害、危険事例、遊歩道閉鎖等）の発生状況

＜人身被害＞

・斜里町・羅臼町・標津町における人身被害なし（平成 24～28 年度）

＜危険事例＞

斜里町

危険な事例が 81 件発生（H24: 12 件、H25: 6 件、H26: 13 件、H27: 31 件、H28: 19 件）した。人が関連する食品（釣り人が放置した荷物や釣り上げた魚など）や不法投棄ゴミなどにヒグマが餌付いてしまう事例や、カメラマンや観光客が撮影のためにヒグマに異常接近する事例、住宅地にヒグマが侵入する事例、ヒグマが車両に接近したり接触する事例、ヒグマが自転車やバイクを追いかける事例、テントを破く事例、建物内に侵入する事例などであった。詳細は以下の通り。

平成 24 年度

①6月19日 オシンコシンの滝	ヒグマが滝の下部付近の林内でフキを採食しており、滝を展望する階段が緊急閉鎖された。階段の突き当たりとヒグマの距離はわずか 20m 程であった。
②6月22日 知床横断道	2 頭連れ親子を発見した観光客が、車から降りた際に親グマに突進された。当事者はすぐに車に乗り込んだため、ヒグマとの接触はなかった。
③6月30日 ウトロ野営場	標識付きオス成獣が国設野営場に侵入したことが確認されたため、7月1日早朝に有害捕獲。
④7月23日 知床公園線（イダシュベツ川付近）	ヒグマの写真を撮るため車を降りてヒグマに約 10m まで接近した観光客が、ヒグマに威嚇されて逃げる際に転倒し、擦過傷を負った。
⑤8月1日 知床公園線（岩尾別～五湖間）	車中からヒグマに対しパンを投げる観光客を当財団スタッフが目撃し、直ちにヒグマを追い払いパンを回収。
⑥8月16日 知床公園線（岩尾別川付近）	ゴミ袋を啜えるヒグマが目撃された。現場でヒグマを追い払い、散乱した漬物やメロン等のゴミを回収。この事例では目撃情報と現場の状況から複数のヒグマ（1 頭連れ親子と単独ヒグマ）がゴミを採食したと考えられた。
⑦8月24日 羅臼岳登山道	環境省職員が登山道上を歩いて接近してくるヒグマにクマスプレーを噴射して撃退した。このヒグマは前方に人がいると認識したにも関わらず接近し続けるなど、まったく人を恐れない個体であった。
⑧8月23日	ウトロ沢河口付近に単独のヒグマが出没し、幌別川河口まで延々と追い払う。

⑨8月27日 ウトロ漁港	停泊中の船舶にヒグマが侵入し、漁具や漁業用の餌が荒らされる事例が発生。翌日の夜間にウトロ漁港から国設野営場方面に逃げ込む単独のヒグマが目撃され、翌朝に国設野営場内で有害捕獲。
⑩8月31日 岩尾別	ホテルのゴミ置き場を荒らして生ゴミを食べる単独ヒグマが目撃されたため、追払いと散乱したゴミの回収を実施。同日ヒグマが再度出没しゴミ置き場を壊しているとの通報を受け、現場で同一のヒグマを発見しやむなく有害捕獲。
⑪9月21日 ウトロ西	住宅地にヒグマが侵入し、干し魚を荒らす事例が発生。
⑫11月6日 ウトロ西	サケトバ作業小屋の窓がヒグマに壊される事例が発生。

平成 25 年度

①5月下旬 真鯉～オシンコシンの滝	オス亜成獣が繰り返し出没し、エゾシカファームの敷地に入り込みシカの残滓を食べたり、ウトロ西の海岸を移動して道の駅近くまで入り込むなど問題行動を繰り返す事例が発生。同個体は6月6日に弁財崎付近の海岸で有害捕獲となった。
②5月28日 フレペの滝	利用者が5mの距離でヒグマと遭遇し走って逃げる事例が発生。事故には至らず。
③7月25日 ウトロ野営場	野営場利用者が日中にキャンプサイトの炊事場の近くをうろついているヒグマが目撃され、野営場利用者を建物内（知床ボランティア活動施設）に避難させた状態でヒグマを有害捕獲。
④9月6日 岩尾別温泉道路	羅臼岳登山のため路肩に駐車している車両にヒグマが接近している現場を確認した。このヒグマは窓から車内を覗き込んだり、ボンネットに前足をのせたりするといった、明らかに車両に興味を持っている行動が見られた。
⑤9月18日 岩尾別川	川内に頭と内臓を除去されたサケの死体15尾が投棄されていた。投棄した人物が故意にヒグマを寄せようとしていた可能性が高い。サケをヒグマが採食した痕跡はなく、ヒグマが餌付く前に回収。
⑥10月20日 幌別川河口	釣り人が釣ったサケをヒグマに盗られる事例が発生。

平成 26 年度

①4月29日 ウトロ香川	4～5月にかけて市街地柵外の住宅周辺で昨年のクルミの堅果を目的に複数のヒグマが頻繁に出没する状況が発生。人を全く気にしない個体もあり、住宅前に出没したヒグマ（ID=BS）を住民がクマスプレーで追い払う事例が発生。
②5月2日 真鯉～峰浜	真鯉に単独亜成獣ヒグマが出没。うち1頭（ID=BS）は5月に国道沿いを斜里基部方向へ徐々に移動、国道近くでシカを捕殺したり、ゴミを漁ったりする行動を取り、最

	最終的に峰浜で有害捕獲となった。
③5月4日 ウトロ市街地	ウトロ保育所周辺で単独のヒグマが道路上をうろつき、緊急捕獲された。捕獲された個体は、無標識であったが、幌別川周辺でたびたび目撃されていた個体の可能性があった。
④5月11日 ウトロ高原	数日間に渡り、ウトロ高原の住宅傍に複数のクマが繰り返し出没する状況が発生した。少なくとも大小2頭のクマが人目を気にせず、日中にも出没した。いずれのクマも昨年の掘り残したビートを食べていた。
⑤5月24日以降 岩尾別	0才3頭連れ親子（親ヒグマ ID=CM）が繰り返し出没。人に対して威嚇突進を繰り返すなど、行動に注意を要する個体であった。
⑥4～7月 幌別～ウトロ	自然センターからウトロにかけてのエリアに、人を気にしない亜成獣のヒグマ（ID=RB）が繰り返し出没。ウトロ東の住宅裏やウトロスキー場など、人の生活圏にごく近い場所に出没する事例が頻発。行動履歴から問題個体と判断され、国立公園外で有害捕獲する方針になったが、公園内に戻ったため捕獲には至らなかった。
⑦6月9日 ウトロ西	住宅裏に0歳2頭連れのヒグマが頻繁に出没。住宅裏の斜面で日中にフキなどの草本類を採食するなど、人に対する警戒心が極めて低い個体であった。6月23日に住宅裏に再出没し、捕獲された
⑧7月25日 ウトロ漁港	三角岩にヒグマが出没。ヒグマは三角岩からウトロ東方向に泳いでいき、ウトロ沢付近で上陸した模様。現場確認の結果、ウトロ沢付近でクマの足跡らしき痕跡を発見した。
⑨9月15日 プユニ岬	自転車が約30mに渡ってヒグマに追いかけるという事例が発生した。最接近距離は約10mで、個体のサイズは成獣クラス。
⑩9月23日 知床横断道路	ヒグマが車を追いかける事例が発生。現場確認を行ったが、該当個体や誘引物の発見なし。ヒグマは道路上方から降りてきて、怒った様子で車を追いかけてきたとの情報。
⑪10月9日 五湖地上歩道	ヒグマの目撃情報があり現場調査中、地上遊歩道の大ループ上で該当個体を発見。ヒグマは人を忌避することなく、5mほど歩道上を歩いて接近。その後、追い払い対しても、威嚇する素振りをみせた。
⑫3月23日 ウトロ高原	住宅傍に単独ヒグマが出没。人や犬を恐れず行動するため、危険と判断し駆除。国立公園内に頻繁に出没していた個体（ID:RB）であった。
⑬3月27日 プユニ岬	単独ヒグマが車に威嚇突進。

平成 27 年度

①4月16日 ウトロ香川	旧自然村で単独ヒグマが住宅の窓をのぞき込む事例が発生。現場到着時、ヒグマの姿はなく個体は不明。
②6月3日 真鯉	国道沿いでヒグマと乗用車の接触事故があり、ヒグマが手負いとなる。警察が国道を一時閉鎖し、猟友会と知床財団でヒグマを駆除（15B05）。
③6月13日 知床横断道路	ヒグマが自転車を追いかける事例が発生。事故には至らなかったが非常に危険な状況。
④6月16日 真鯉	ヒグマの交通事故死体が発見される。事故発生は15日夜と推定された。
⑤6月28日 ウトロ	深夜のコンビニエンスストア駐車場で単独ヒグマが目撃される。
⑥6月13、22、26日 岩尾別	ヒグマが車両に接近・威嚇突進する事例が発生。
⑦7月5日 岩尾別	岩尾別でヒグマが車両を叩く事例が発生。怪我人はなし。
⑧7月7日 岩尾別温泉道路	バイクを追いかける単独ヒグマの情報あり。
⑨7月11日 知床峠付近	自転車と親子ヒグマが近距離で遭遇。事故には至らず。
⑩7月13日 日の出	商店の空き瓶置き場の瓶がヒグマによって一部倒される。
⑪7月17日 知床横断道	親子ヒグマ（09B06）が停車している乗用車に近づき臭いを嗅ぐ事例が発生。
⑫7月18日 知床横断道、公園線	ヒグマがバイクや車に威嚇突進する事例が発生。
⑬7月26日 幌別橋付近	ヒグマ（09B06）が乗用車に足をかけ揺する事例が発生。
⑭7月29日 幌別	車を追いかける単独ヒグマの目撃あり。
⑮8月2日 真鯉	エゾシカファームでシカ用のニンジンがヒグマに食べられる。
⑯8月6日 フレペの滝	遊歩道内でヒグマが出没し、利用者の退出中にヒグマ（CP）がシカを追いかけて、人の列の間を通過する事例が発生。

⑰8月13日 知床横断道	親子ヒグマ（09B06）が出没し、子の1頭が車に前足をかけてのぞき込む事例が発生。
⑱8月13日 知床連山	三ツ峰野営地テントがヒグマに破かれる事例が発生。テントは無人で食糧等が入っていなかった。
⑲8月14日 ウトロ東	沿岸をヒグマ（CP）が泳いでウトロ漁港方面に移動する事例が発生。観光船に協力を仰ぎ港への侵入を阻止。ヒグマを幌別川まで押し戻す。その間、国道沿いに大渋滞が発生し、警察に交通整理の協力を要請。
⑳8月23日 真鯉	エゾシカファームの解体場のシャッターがヒグマに壊され、シカの残滓を荒らされる事例が発生。同日の夕方に駆除態勢をとるが、捕獲に至らず。
㉑8月24日 ウトロ西	夜間ヒグマの目撃情報があり、現場を調査中に単独ヒグマを目視。ヒグマは山側へ逃げロスト。翌早朝、パトロールを実施したがヒグマの姿なし。糞から採取した遺伝子より、ルシヤや羅臼を広域的に行動しているオス（MA）と判明。その後、この個体は9月1日にウトロ高原農地で有害駆除されたことが遺伝子から判明。
㉒8月30日 岩尾別	孵化場の電気柵内にヒグマが侵入。住宅のガレージ内にも侵入し、移動後に緊急駆除となる（CP）。
㉓9月9日 斜里	町民公園パークゴルフ場内でヒグマの足跡が見つかる。役場と猟友会が付近を捜索したがヒグマは確認されず。
㉔9月9日 ウトロ中島	子グマの目撃情報あり。9月6日に小中学校のグラウンドを走る子グマがいたとの情報あり。翌日、ペレケ川沿いで0才2頭を発見し駆除。
㉕9月13日 真鯉	エゾシカファームに常習的に侵入した個体が有害駆除となる（DF）。
㉖9月29日 ウトロ市街地	ペレケ川で単独ヒグマを発見し駆除（EZ）。体重345kgのオス成獣であった。
㉗10月15日 ウトロ市街地	0才2頭連れ親子が侵入。最終的に野営場側のフェンスを乗り越え逃走。
㉘10月18日 幌別川河口	釣り人がヒグマに荷物を荒らされる事例が発生。現場に執着している単独ヒグマ（EX）を危険と判断し駆除。
㉙10月18日 幌別川河口	単独ヒグマが出没し、釣り人の放置したサケを採食する事例が発生。追い払い中に実弾が誤射され、ヒグマ手負い状態となる。危険と判断し緊急駆除（SZ）。
㊀10月19日 ウトロ西	国道上で夜間、単独ヒグマが目撃される。ヒグマは海岸へ逃走し、その後の行方は不明。ヒグマには耳標が付いていた。
㊁11月10日 ウトロ東	ヒグマ出没場所に大量の魚ゴミを発見し、回収。注意看板を設置。

平成 28 年度

①5月30日 ウトロ東	ウトロ東の漁業番屋裏に親からはぐれた子グマが出没。麻酔銃で不動化し奥地放獣。
②7月5日 フレペの滝	遊歩道内でヒグマ2頭が利用者の間を通り抜けていく事例。利用者は走って逃げようとしたが同伴者が注意し、大事に至らず。
③7月9日～12日	ウトロ市街地柵内でヒグマの痕跡が相次いで見つかる。市街地柵内を調査・巻き狩りするがヒグマの姿なし。
④7月31日 温泉道路	自転車がヒグマに接触しかける事例が発生。事故には至らず。
⑤8月13日 硫黄山登山道	登山者がヒグマに唸られる。
⑥8月24日 幌別川	釣り人の自転車がヒグマに壊される。サドル部分を齧られる。
⑦8月25日 幌別川	釣り人の荷物がヒグマに荒らされる。中に食物はなし。
⑧8月26日 幌別川	ヒグマが釣り人に接近。釣った魚をヒグマに持ち去られる。
⑨8月27日 幌別川	河口にヒグマが出現、釣り人が右岸に取り残される。
⑩8月28日 幌別川	河口にヒグマが出現。釣り人の投棄した釣り餌（イカ）を食べる。
⑪8月29日 幌別川	ヒグマが釣り人の残置した魚を摂食し、その後も釣り人に接近する。
⑫9月14日 ペレケ川	ウトロ市街地柵内のペレケ川でヒグマに捕食されたマスが見つかる。調査するもヒグマの姿なし。
⑬9月22日 ポロピナイ	ヒグマが車に接近。ヒグマにパンを与えようとする者がおり、目撃者が阻止した。
⑭10月26日 ポロピナイ	車に接近してくるヒグマを発見。
⑮10月28日 ポロピナイ	車に接近してくるヒグマの情報。
⑯11月1日 ポロピナイ	車に接近してくるヒグマの情報。
⑰11月8日 岩尾別	車に接近してくるヒグマの情報。

⑱11月13日 ポロピナイ	車に接近してくるヒグマを発見。停車している車の運転席ドアの前に来て匂いを嗅ぐ。 餌付けされている疑いあり。
⑲11月13日 岩尾別連続カーブ	ヒグマが駐車中の車（無人）にのしかかる事例が発生。

羅臼町

危険な事例が 18 件発生（H24：4 件、H25：1 件、H26：3 件、H27：9 件、H28：1 件）。平成 24 年度の夏期には、削瘦し衰弱したヒグマの住宅地への侵入が多発した。衰弱により追い払いへの反応が極端に悪くなった例や、周辺に人や住宅が多いために追い払いを安全に実施できない例も多く、有害捕獲頭数の増加につながった。また、平成 27 年度の夏期には、モイレウシを除く相泊以北の各釣り場で、利用者が持ち込んだ食べ物や釣った魚がヒグマに奪われる事例が報告された（後述するペキン川河口の事例以外は間接的な情報であり、現地調査を実施していないため詳細不明）。また、春日町の漁業番屋の倉庫にオス成獣が侵入する事例があった。

平成 24 年度

①7月23日 昆布浜	ヒグマが番屋内に侵入し、生ゴミを食べる事例が発生。翌早朝に当該個体は有害捕獲された。
②7月26、28日 八木浜町、麻布町	住宅街の生ゴミに餌付いた可能性の高いオス成獣が相次いで有害捕獲された。周辺では夜間に住宅脇で大型のヒグマが頻繁に目撃され、倉庫のシャッターを破られて中の干し魚を食べられた例や、勝手口のドアをヒグマに傷つけられる例などが発生した。
③8月20日 ショウジ川河口	海岸で作業をしていた昆布漁業者に対して、オス成獣が次々と威嚇突進を繰り返す事例が発生した。有害捕獲。
④9月6日 羅臼漁港内	衰弱したヒグマが侵入する事例が発生。同個体は漁港の斜路で寝始めた。既に日没時刻を過ぎていた上に、周囲に多数の見物人が集まっており、山への追い払いは不可能な状況であった。そのため、警察官職務執行法に基づく発砲命令を羅臼駐在所の警察官が下し、その場で有害捕獲された。

平成 25 年度

①4月22日 羅臼市街地	羅臼町役場付近の羅臼市街地中心部を、きわめて警戒心の薄い若い単独オスが横断する事例が発生した。これまでも夜間に羅臼川沿いに侵入してくる例などはあったが、日中に堂々と市街地中心部を横断した事例は羅臼町内初であった。
-----------------	--

平成 26 年度

①7月26日 麻布町	水産加工場に隣接した住宅で、屋外に設置されていたごみ箱が荒らされ、中身の生ごみが持ち去られた。現場付近でフキの食痕が確認されたため、ヒグマによる被害である可能性が高かった。
②7月28日 麻布町	住宅で生ごみの入ったバケツが荒らされた。付近でヒグマが目撃されたため、このヒグマによるものと推測された。
③8月 赤岩	漁業番屋の近くから離れないヒグマが確認された。漁業活動に支障が出たため有害捕獲方針となったが、捕獲には至らなかった。

平成 27 年度

①7月1日、4日 知床峠付近	一般車両が親子グマ（親ヒグマ ID : 08B14）にブラフチャージを受けた。当該親子は斜里側で自転車を追いかけた親子と同一の可能性があった。
②7月21日 海岸町	深夜、オッカバケ川右岸で一般住宅のゴミが荒らされる被害が発生した。空のゴミ箱が持ち去られ、翌日の深夜には少し離れた場所で木箱に入った生ごみが持ち去られた。8月4日、加害個体と考えられるヒグマが有害捕獲となった。
③8月17日 知昭町	水産加工場敷地内にある汚水槽が荒らされる被害が発生した。汚水槽の上に積まれた木製パレットが破壊され蓋が開けられた。これらの被害を受けて捕獲檻が設置され、8月25日に有害捕獲となった。
④8月21日 ペキン川河口	釣り場（瀬渡し場）の一つであるペキン川河口において、利用者が持ち込んだ食べ物や釣った魚がヒグマに奪われる被害が特に酷いと報告された。原則として、レクリエーション利用のためのヒグマの駆除（あるいはそれに準ずる対応）はしない事になっていたが、特に人に対して至近距離まで接近して来る事例が報告された同所においては、異例の追い払い対応が行われた。
⑤8月22日 栄町	深夜、一般住宅裏の小屋から塩マス、干し魚がヒグマに奪われる被害が発生した。翌日の夜にも同じ場所に出没していることが自動撮影カメラによって明らかになったが、その後、姿を現すことがなかった。当該個体は、8月25日に有害捕獲された個体と体格が類似していたため、同一だった可能性がある。
⑥9月10日 岬町モセカルベツ 地区	夜間、水産加工場付近でヒグマが目撃され、対応中に残渣が食べられる被害が発生した。威嚇弾による追い払いを実施した結果、同じ場所に出没することはなかった。
⑦9月15日 海岸場	オッカバケ川右岸の水産加工場の屋内作業場にヒグマが侵入する被害が発生した。作業場の出入口は破壊され、屋内に保管してあった鮮魚が食べられた。これらの被害を受けて捕獲檻が設置され、翌16日に有害捕獲となった。
⑧10月22日 幌萌町	水産加工場で発砲スチロールゴミが荒らされる被害が発生した。現場検証の結果、残渣も食べられていることが明らかになり、被害は9月末頃から続いていたことが判明した。当該個体は、日中にも出没していることからそのまま捕獲体制となり、同日中に敷地に侵入しようとしていた当該個体が有害捕獲となった。
⑨11月15日 春日町	漁業番屋の倉庫にオス成獣ヒグマが侵入しサケトバを食べられる被害が発生。侵入時にシャッターと窓ガラスが破損。当該個体は後日に捕殺となった。

平成 28 年度

① 7月26日 岬町	水産加工場の残渣が食べられた。異なるサイズの足跡があることから加害個体は複数いることが推測され、うち1頭が箱罟で有害捕獲された。
---------------	--

標津町

平成 24～28 年度は、ヒグマによる直接的な人身被害はなかったが、平成 24～25 年度に複数の危険事例が確認された。

平成 24 年度

① 崎無異市街地	ヒグマ（2 歳）が住宅裏の海岸線に漂着した海獣の死骸を捕食していた事例が発生。その際、対応者から 2m の近距離でヒグマと遭遇、追払い対応を検討するも周囲に住宅が点在しており、住民が庭先で作業をしているため、安全上難しいと判断し、個体を駆除し誘引物を撤去した。その後の住民からの聞き取りでは、駆除個体の他にも以前から複数のヒグマが誘引物に誘引されていた模様。
② 崎無異～薫別	海獣の斃死体漂着が昨年から増して 13 件となった。その多くがヒグマの誘引物となり、対応に迫られた。また、漂着した時期がお盆に重なったことから町外からのキャンプ客や釣り人に対する利用自粛願いに苦慮した。
③ 忠類市街地	8 月の出没件数が増えた要因として、忠類市街地付近でヒグマ（1 歳）が繰り返し出没した。同個体は、市街地付近でフキなど捕食し続けたほか、漁網の洗浄作業を行っていた付近を中心に徘徊していた。

平成 25 年度

① 川北	7 月に川北ウラップ川西 4 線陸橋付近の河川敷で、有害駆除にて半矢になったエゾシカを親子連れヒグマ（成獣 1、幼獣 1）が捕獲している所をドライバーが目撃し通報。その後も同一地点で目撃が相次いだ。周辺の状況は、藪も濃く、誘引物となっているエゾシカの死骸の撤去は難しいと判断。さらに、周囲には人家も少なく、同付近はヒグマの活動域となっていることなどから、関係者との協議で追払い対応とした。
② 川北	7 月に川北シュラ川流域で、垂成獣 2 頭の出没が相次いだ。
③ 川北	10 月に国道 272 号線川北付近の山林で、単独で山ブドウ狩りを行っていた町内男性がヒグマと遭遇。その後、国道まで退避するまでの 100m 程度をヒグマに後方を付けられた事例が発生。当初男性は、ヒグマとの遭遇を避ける目的で、定期的にホイッスルを鳴らしていたが、気が付いたら 20m 程度のところにヒグマが居たとのこと。その後、持っていたブドウの入った袋やハサミを振り回しながら道路まで後退していったが、ヒグマは全く逃げる気配を見せず、最終的には道路のり面付近まで来た時には数 m まで接近。その際、たまたま通りかかったトラックがクラクションを鳴らした際に、ようやくヒグマが逃避し、難を逃れた。その後、現場確認を実施したところ、個体は最後に逃げ去った場所からはほぼ真直ぐに山林を抜け、湿地帯に向かった後だった。その後、しばらくパトロールを行っていたが、姿を見せることもなかったため、周囲に注意喚起の看板を設置するとともに、パトロールを継続。後日、付近で同個体は捕獲された。

* 平成 26～28 年度は危険事例なし。

＜農業被害＞

- ・斜里町における農作物被害は、平成 22 年から 5 年連続で減少。平成 28 年は集計中のためデータなし（図 1）。農作物の内訳は甜菜（ビート）と秋小麦が大部分を占める（表 1）。
- ・羅臼町と標津町については、サイレージがヒグマの被害にあうなどの情報があるものの、ヒグマによる被害金額の集計はされていない。

表 1. 平成 23～27 年度におけるヒグマによる農業被害状況（JA 斜里 提供）

被害作物	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	面積	金額	面積	金額	面積	金額	面積	金額	面積	金額
澁原馬鈴薯	86	637	10	72	15	115	40	291	25	185
種子馬鈴薯	67	1047	15	216	0	0	10	111	0	0
甜菜	486	4370	727	5,601	380	3,000	295	3009	575	6746
秋小麦	448	2837	273	1,920	245	1,636	205	1238	180	1321
春小麦	58	427	10	60	20	119	0	0	0	0
人参	26	496	30	426	10	261	10	154	40	1124
スイートコーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大豆	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小豆	7	76	10	107	0	0	0	0	0	0
その他	25	50	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,203	9,940	1,075	8,402	670	5,131	560	4803	820	9376

*単位 被害面積：a、被害金額：千円

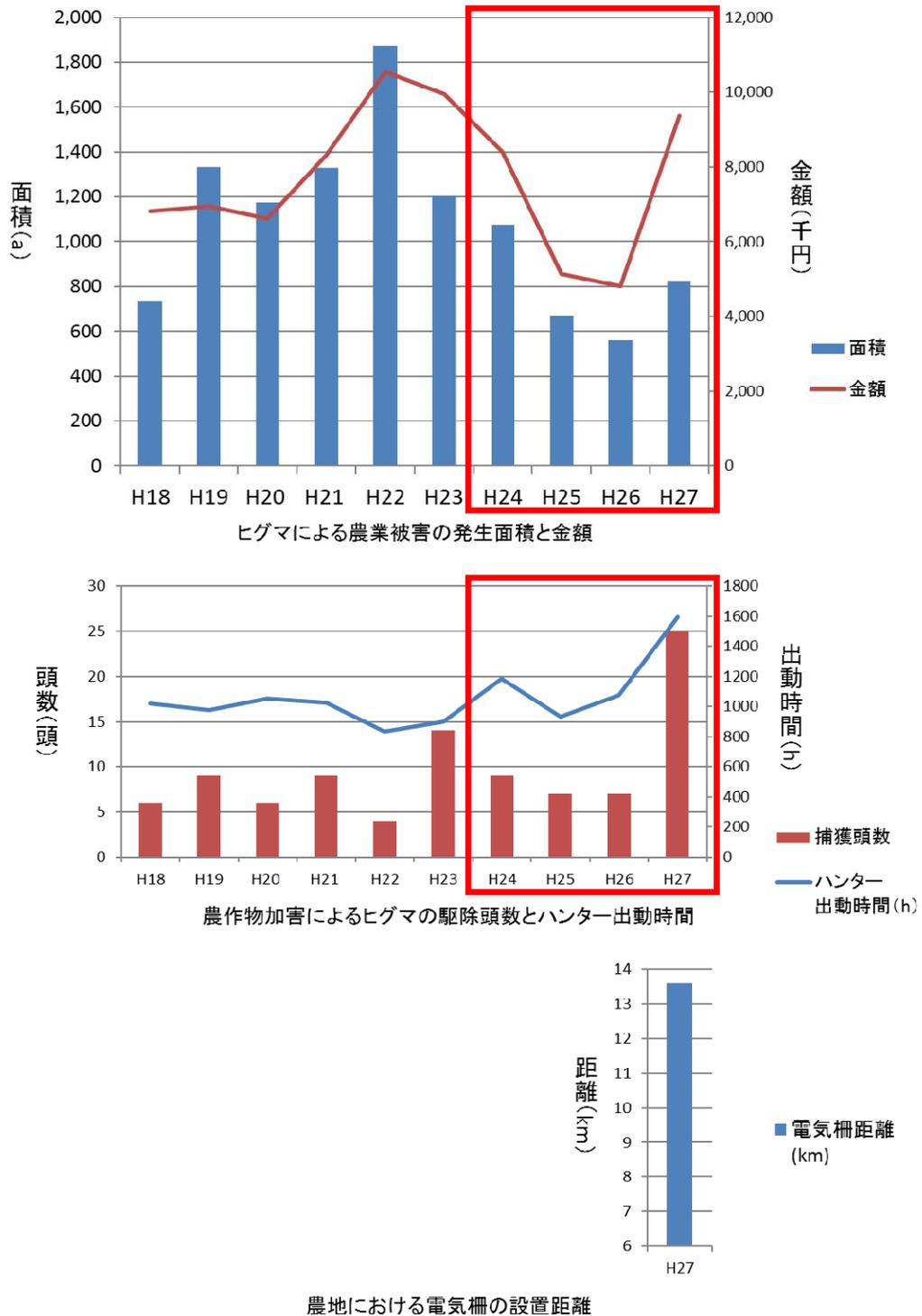


図 1. 斜里町におけるヒグマによる農業被害の発生状況と対策の実施状況

* 捕獲頭数は農地における有害捕獲数のみ。狩猟による捕獲は除く。

** 電気柵距離は多面的機能支払交付金によって新規に設置されたものの距離を示す。

<遊歩道閉鎖状況>

- ・ヒグマの出没により閉鎖対応しているのは知床五湖地上歩道とフレペの滝遊歩道。
- ・羅臼湖や知床連山登山道は基本的に閉鎖対応なし。

【知床五湖】

- ・地上歩道におけるヒグマ遭遇回数は平成 24 年が最多（84 回）、次いで平成 27 年（73 件）（図 2）。
- ・ヒグマ活動期のツアー中止回数は平成 24 年が最多（39 件）、次いで平成 27 年（13 件）。
- ・植生保護期の緊急閉鎖日数（荒天原因含む）は平成 24 年が最多（35 件）、次いで平成 27 年（30 件）となった（図 3）。
- ・平成 25 年が最もヒグマ出没が少なく、地上歩道の供用が安定的であった。

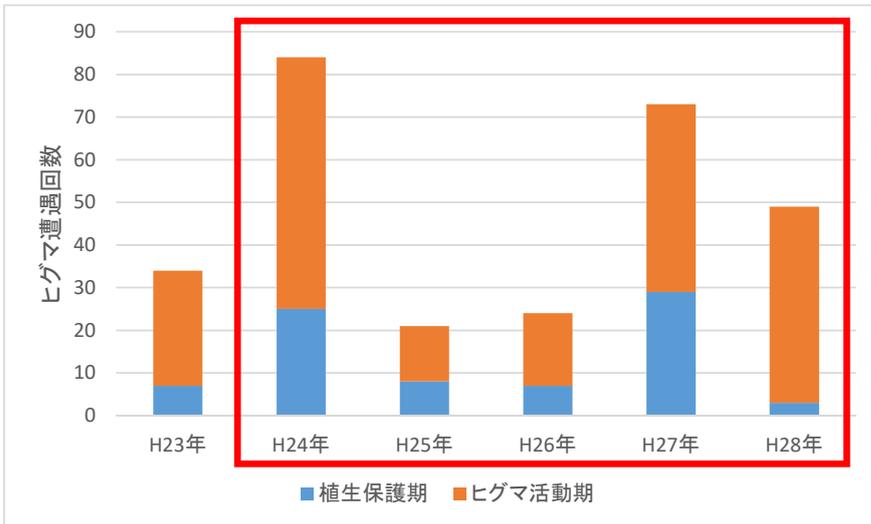


図 2. 知床五湖地上歩道におけるヒグマ遭遇回数

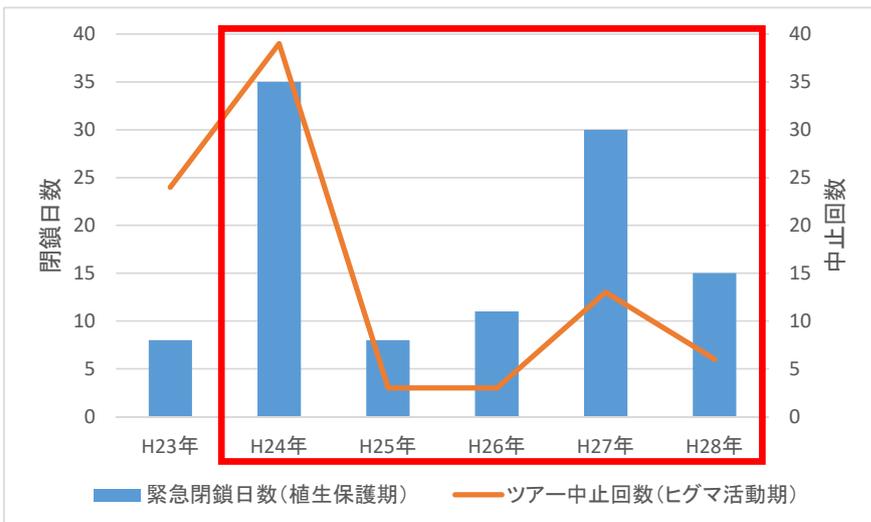


図 3. 知床五湖地上歩道の緊急閉鎖日数とツアー中止回数

【フレペの滝遊歩道】

- ・平成 27 年にヒグマ目撃件数と遊歩道閉鎖回数が最多となった（図 4）。
- ・平成 28 年は特に 7 月にヒグマの出没が集中し、閉鎖回数が多かった（表 2）。

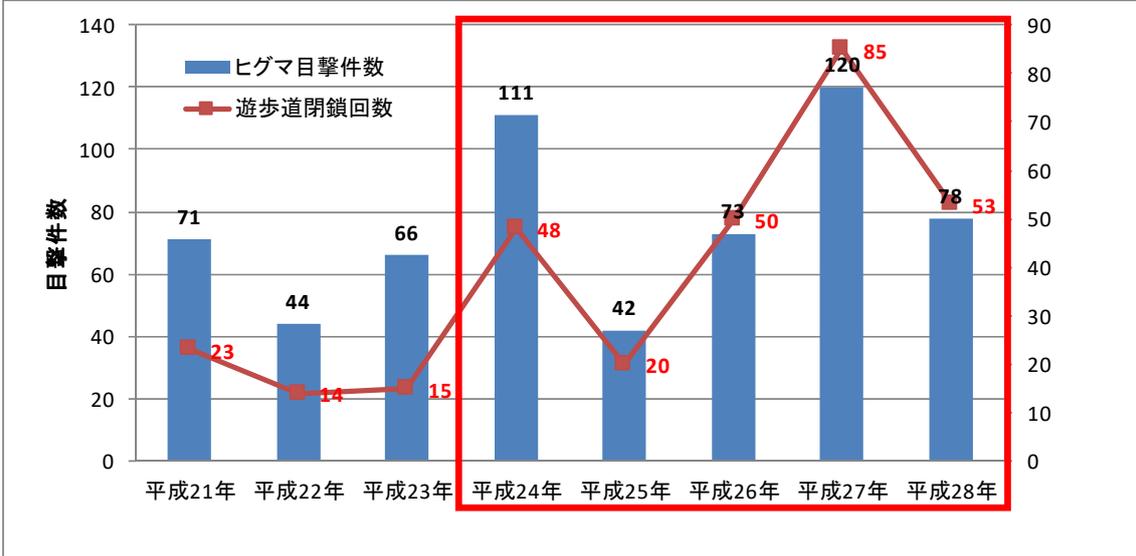


図 4. フレペの滝遊歩道におけるヒグマ目撃件数と遊歩道閉鎖回数

表 2. 平成 28 年におけるフレペの滝遊歩道閉鎖状況（ヒグマによる閉鎖）

月日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
1日				11、12回目	41回目		
2日				13回目	42回目		
3日					43回目		
4日			4回目	14回目	44回目		
5日				15回目			51回目
6日				16回目			
7日				17、18回目		49回目	
8日				19回目			
9日				20回目			52回目
10日	1回目				45回目		
11日	2回目			21回目			
12日	3回目			22回目	46回目		
13日			5回目	23回目			
14日				24回目			
15日				25回目			
16日				26回目			
17日				27回目		50回目	
18日				28回目			
19日			6回目	29回目			53回目
20日				30回目			
21日				31回目			
22日			7回目	32回目			
23日				33回目			
24日			8回目	34回目			
25日			9回目		47、48回目		
26日			10回目	35回目			
27日				36回目			
28日				37回目			
29日				38回目			
30日				39回目			
31日				40回目			

【知床連山登山道】

- ・主に 6～9 月の期間中に、毎年 12～64 件の目撃あり。平成 24 年が最多（64 件）、次いで平成 27 年（50 件）（表 3）。
- ・平成 28 年から林野庁が各登山口にヒグマ目撃情報収集ためのアンケート用紙と回収ボックスを設置。ヒグマ目撃情報の回収率が強化された可能性あり。
- ・基本的に登山者が自力でヒグマとの遭遇回避や退避を実施しなければならない状況。
- ・人を恐れないヒグマが登山道近くに滞留し、登山者が進めなかったり引き返せなくなる状況が、特に平成 24 年と 27 年に多かった（表 4）。
- ・平成 28 年は 7 月に 100 名程の登山者が、登山道に滞留するヒグマに 1 時間程度足止めされる事例が発生。至近距離遭遇が 8 月に 6 件発生し、そのうち 1 件で登山者がヒグマに唸られた。いずれも事故には至らず。
- ・平成 27 年 8 月には、三ツ峰野営地で無人のテントがヒグマに破られる事案が発生。
- ・登山口における注意喚起の看板設置や、クマスプレーのレンタル等の対策を実施。

表 3. 登山道におけるヒグマ目撃件数

	羅臼岳 (岩尾別コース)	硫黄山	縦走路	羅臼岳 (羅臼温泉コース)	計
平成24年	42	9	4	9	64
平成25年	17	0	0	2	19
平成26年	6	4	0	2	12
平成27年	24	5	6	15	50
平成28年	17	6	6	3	32

表 4. 登山者とヒグマの軋轢（抜粋）

期日	場所	状況
平成24年	7月2日	羅臼岳登山道 大沢で親子ヒグマがいたため下山できず、登山者はルートを変え羅臼側へ下山しようとしたが道が分からなくなり携帯電話で警察へ連絡。その後遭対協の助言で無事下山。
	7月10日	硫黄山登山道 登山道に2頭連れの親子ヒグマがいた。登山者が近づき、母グマに唸られる。
	7月28日	羅臼岳登山道 羅臼平にて親子ヒグマがデポリュックの周りを徘徊した。さらに人に向かって歩いてきた。
	8月1日	羅臼岳登山道 羅臼平～大沢間にて登山者が霧の中でヒグマ2頭と遭遇。40分待ったが動く気配はなく、突破を試み、クマに唸られた。
	8月11日	縦走路 三ツ峰付近に親子ヒグマがいた。登山者は2時間程待機したが、クマが動かなかったため羅臼平へと引き返した。
	8月12日	縦走路 三ツ峰付近に親子ヒグマがおり、登山者は縦走を諦め下山。
	8月14日	羅臼岳登山道 550m岩峰にて登山者が単独ヒグマに唸られ、前を横切られた。
	8月14日	羅臼岳登山道 羅臼平～羅臼岳山頂に親子ヒグマがいた。母グマは人を避けたが、子グマは徘徊。登山者同士で声かけにより、クマの存在に早く気付き退避。
	8月14日	羅臼岳登山道 羅臼平～羅臼岳山頂に親子ヒグマがおり、山頂にいた登山客が立ち往生。爆竹等で音を鳴らすがクマは無反応。
	8月15日	羅臼岳登山道 羅臼平～羅臼岳山頂に親子ヒグマがいた。クマは登山客に対し無反応。
	8月17日	羅臼岳登山道 羅臼平のフードボックス付近で2頭連れの親子ヒグマが徘徊していた。
8月24日	硫黄山登山道 旧採掘場付近で巡視中のGSS2名が単独ヒグマと遭遇。クマは人に距離1mまで接近したが、威嚇している様子なし。	
平成25年	7月28日	羅臼岳登山道 ヒグマが登山道の上に座っていたため登頂を断念し引き返す。
平成27年	7月16日	硫黄山登山道 ヒグマが登山道の上に居座っていたため引き返す。
	8月13日	縦走路 三ツ峰野営地でテント(無人)がヒグマに破られる。荷物を物色された痕跡はなし。
	8月16日	羅臼岳登山道 羅臼平にヒグマが2時間程うろついていた。フードロッカーに足をかけていた。
	8月16日	羅臼岳登山道 大沢雪渓でヒグマが寝そべっており、10人程足止めを食う。皆でまとまって行動しヒグマの横を通り抜けた。ヒグマは人を無視していた。
	8月16日	羅臼岳登山道 銀冷水付近でヒグマが向かってきたのでストックで応戦した。※二次情報
	8月22日	羅臼岳登山道 羅臼平付近でヒグマがおり、1時間以上待機。
	8月24日	羅臼岳登山道 大沢にヒグマがいたため、引き返した。
	8月25日	羅臼岳登山道 羅臼平付近でヒグマにブラフチャージされる。
	9月5日	羅臼岳登山道 ヒグマがオホーツク展望近くにいたため怖くなって引き返す。
平成28年	8月4日	羅臼岳登山道 650m岩峰付近で5mの至近距離遭遇
	8月13日	羅臼岳登山道 弥三吉水手前で5mの至近距離遭遇
	8月13日	硫黄山登山道 新噴火口～山頂の間でヒグマに唸られる
	8月18日	羅臼岳登山道 650m岩峰付近で8mの至近距離遭遇
	8月25日	羅臼岳登山道 極楽平で2mの至近距離遭遇
	8月27日	硫黄山登山道 登山口で5mの至近距離遭遇